



# 見沼自然散策

2025.11.24



見沼たんぼ地域ガイドクラブ



アカシデ



イヌシデ

◆風に実を預ける樹たち  
 ◆アカシデとイヌシデはよく似ているが、アカシデが細身・小ぶり。紙垂状に連なっていた実はひとつづつ離れて風に乗る  
 ◆ススキの穂には固いノギがあるが、オギにはなく、柔らかい。また、ススキは株で生えるがオギは地下茎で平たく生える



ススキとオギ



ゴンズイ

◆赤は鳥を呼び色。実が赤いノイバラだけでなく、クサギはガクを赤くする。ゴンズイも実を赤くし、種ができるると割れて黒い種子が顔を出す



ノイバラ



クサギ



チジミザサ



イノコヅチ

草むらを歩くとたくさんの実が服につく。チジミザサはべたべたした粘液でくっつく。イノコヅチは実がとんがり、刺さる。コセンダングサは種の先に返しについたとげをつけ、繊維に絡みつく  
 様々な手段で種散布を企てる



コセンダングサ



チョウセンカマキリ卵のう



オオカマキリの卵のう

◆カマキリの仲間は卵で越冬。卵のうの形はそれぞれに違う◆クビキリギスは成虫で越冬

↓冬鳥がやってきた。お腹が黄色いアオジは「チッ」と鳴く。尾の長いエナガは常に動いている。ジョウビタキはオスもメスもそれぞれに縄張りを持つ



クビキリギス



アオジ



エナガ



シジュウカラ



ジョウビタキ